

令和4年度 課長方針 検証

部課	水道部 業務課	課長	尾上 聡
----	---------	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・蕨市水道ビジョンに基づき、行動計画を積極的に推進する。 ・担当業務以外の知識についても習得を進め、自己研鑽を図るとともに業務全般についての認知を深め、配置転換、支援等に対しても滞りなく対応できるよう備える。 ・公営企業に従事する職員として、常に効率的かつ効果的な水道事業の遂行を意識して職務にあたる。 ・常に用務の改善を心がけ、原理原則に基づき効率化を推進する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
水道事業経営	経営理念に基づき事業を管理・遂行するとともに、健全経営を推進し、お客様から信頼される水道事業を継続する。	「経営戦略」に掲げている財務指標を達成する。経常収支比率100%以上を維持する。令和4年度末における企業債残高対給水収益比率を260%以下を維持する。	△	経常収支比率 98.0% 企業債残高対給水収益比率 230.5%(減免後) ※コロナ・物価高騰対策に係る基本料金免除を実施しなかった場合の企業債残高対給水収益比率は、214.9%
財務管理	会計処理事務を適切に執行する。	支出負担行為書の確認及び支出伝票を法令等に基づく内容審査を徹底するとともに、説明責任を果たすため、精緻かつ正確な審査業務を継続する。	◎	水道利用者の信頼を裏切らない、精緻かつ正確な審査業務を進め、適切な会計処理業務を実施することができた。
情報システムの管理	企業会計システム及び水道料金システムを適切に運用する。	機器及びシステムの維持管理を確実に実施し、情報管理の安全性を担保する。	○	水道料金システムにおいて、消費税計算プログラムに誤りが発生したことを除いては、概ね支障なく、安定した運用を実施し、情報管理の徹底を図った。
蕨市水道ビジョン改訂	令和4年度に計画期間満了となる蕨市水道ビジョンに続く、令和5年度から10年間を計画期間とする新たな計画を策定する。	水道事業の方針を定める蕨市水道ビジョンの改訂を、基礎調査で行った現状分析や課題を基に進める。	◎	今後10年間に必要な詳細な計画や、アセットマネジメント、経営戦略も盛り込んだ「蕨市水道事業ビジョン」を策定することができた。

令和4年度 課長方針 検証

部課	水道部 維持管理課	課長	鈴木 昭弘
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<p>○課員全員が、水道事業が市民生活や事業活動、都市機能を維持するための基盤施設として、社会経済活動全般にわたって不可欠なものであるだけでなく、多様かつ高度な機能が求められていることを常に意識して業務を遂行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全で清浄な水道水を安定的に供給するため、計画事業の実施に万全を期す。 ・「水道ビジョン」をはじめとする各種計画を着実に進める。 ・大規模災害発生時等における水の確保や早期復旧に備え、然るべき準備を進める。 ・課内の意思疎通を密にし、問題に対する改善意識、協力意識を常に高め合う。 ・業務に関し必要となる新たな知識や技術の習得に励み、各自が自己啓発を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
配水施設改良事業	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路の更新 ・重要施設配水管の更新 ・石綿セメント管の更新 	<p>平時における水道水の安定供給をより堅実に実施するため、また、大規模地震時においては水道管路の被害を最小限に抑えるとともに迅速な復旧を可能とするため、市内水道管路のうち、極めて重要度の高い「基幹管路」「重要施設配水管」と、地震に対する脆弱性が懸念される「石綿セメント管」について、管路更新計画に基づき着実に更新工事を実施する。</p>	○	<p>「基幹管路」及び「重要施設配水管」については、概ね計画どおり更新及び耐震化工事を進めることができたが、一部路線について、前年度の繰越工事との兼ね合いから事業時期を見直し、工事完了を令和5年度に変更している。「石綿セメント管」については、計画どおりに更新を進め、地震動に対して脆弱な管路の残存箇所の減少を進めた。</p>
水源・浄水施設改良事業	<ul style="list-style-type: none"> ・取水設備の更新 ・導水管の更新 	<p>地下水取水を堅実に実行するため、取水設備及び導水管について、施設更新計画・管路更新計画に基づき着実に更新工事を実施し、地下水揚水機能の維持と強化を図る。</p>	○	<p>「取水設備」については、2号取水井遠方制御装置・ポンプ盤更新工事及び1・5号取水井ポンプ更新工事を計画どおり完了させ、機能維持・強化を図った。「導水管」については、6・7号導水管布設替工事において、前年度の繰越工事との兼ね合いから事業時期を見直し、工事完了を令和5年度に変更している。</p>

鉛製給水管解消促進事業	鉛製給水管の取替え促進	水道水の安全性を確保すべく、現在の解消ペースを維持できるよう、鉛製給水管取替工事助成金制度についての対象者への情報提供や鉛製給水管の使用による影響等についての注意喚起を継続して実施し、残存箇所数を減少させる。	◎	令和4年度は、鉛製給水管解消促進のための助成金増額期間(3年間)の最終年ではあったが、対象者への通知文書発送やホームページ・広報紙等による事業周知効果が現れ、昨年度並みに解消が進み、残存数の減少が着実に図られた。なお、制度利用の需要が引き続き見込まれるため、増額期間をさらに延長(R7年度まで)することとした。
新たな水道ビジョンの策定	令和4年度に計画期間満了となる蕨市水道ビジョンに続く、令和5年度から10年間の計画期間とする新たな計画の策定	安定的かつ持続可能な水道事業を実現していくため、将来の更新需要、財政収支、各種主要計画などを部全体で連携して検証し、今後10年間に実施すべき施策を明らかにした上で、実効性のある計画を立案する。	◎	本市水道事業の抱える中長期的な課題に対する具体的取組について、部内で連携し実効性のある計画として、令和14年度までの新「水道事業ビジョン」の策定を完了させた。